

## 第12号の発刊に寄せて

心理学研究科長 新 井 邦二郎

平成23年度の本研究科の主な出来事を紹介したいと思います。

まず、本年度（平成23年）3月に退職をされた國分康孝教授（副学長）が、4月から東京成徳大学の学術顧問として就任されました。また、筑波大学大学院人間総合科学研究科に異動した青木佐奈枝准教授の後任として、4月に阿部宏徳准教授（心理アセスメント専攻）を山梨県健康科学大学から迎えました。さらに根津克己講師ならびに飯田順子講師が、同じ4月から准教授に昇任しました。

次に、本研究科の同窓会が設立されました。その設立趣意書の一部を引用させていただきます。

「平成10年に開設された東京成徳大学大学院は、現在まで、博士号〔学位名：博士（心理学）〕の取得者が14名、修士号〔学位名：修士（心理学）〕の取得者が271名にのぼっています。

他方、本大学院開設以来、指導に当たって来られた諸先生方も、退職等により、キャンパスにて姿を見ることができなくなりました。

このような開設から10余年の歴史を刻むなかで、大学院の修了者や現役の院生にはどのような人がいるのか、過去あるいは現在、教員はどのような人なのか、あるいは修了者がどのようなお仕事についているのか、さらには先輩や後輩に仕事のことで連絡をとりたいなどの声が、修了生や現役院生の中で聞かれるようになりました。大学院事務に保管されている修了生の資料も開設から年数を経れば経るほど古くなり、更新する必要性が出てまいりました。こうした状況を鑑みて、修了生・現役院生・教員・事務の四者から、同窓会を設立しようという発意がありました。

これまで教員の研究室単位あるいは研究室を横断する形など、さまざまな修了生の連絡組織があり、それぞれが同窓生組織として活発に活動をしていた時期もありましたが、今回は研究科全体の同窓会の発意であります。

この発意を出発点として、修了生・現役院生の各期1名の方にお集まりいただき、これまで2回の設立の準備会を開催してきました。その結果、今回ご案内のような形で、〔設立のための総会〕（第1回総会）を来る10月1日（土）に開催する運びとなりました。お忙しいこととは思いますが、どうぞご出席いただきたく思います。」

以上の呼びかけに、当日は、修了生38名、退職された先生・職員の方々、現役の院生や教職員の総勢80名を超えた参加がありました。また、会長に西村昭徳氏（平成12年入学）、副会長に木村真人氏（平成13年入学）、新井裕氏（平成16年入学）、荒井信行氏（平成20年入学）の3氏が選出されました。今後の同窓会活動の発展を祈念するとともに、研究科として同窓会との連携を深めて参りたいと考えております。

同窓会の紹介が長くなりましたが、この紀要により、研究科を構成する教員と院生の研究や教育活動の成果の一端を公開し、社会の皆様にご批評をしてもらい、その声を聞き、本研究科の今後の教育・研究の発展に資したいと願っています。

皆様方のご指導をお願いする次第です。